

TOWN/MONEY/WAY-MAKING TALK SESSION

名古屋都市センターでは、まちづくりに興味がある人・まちづくりを始めたばかりの人に向けて「まちづくりびと講座」を行っています。今年度は、まちづくり活動のためのお金づくり、活動を続ける仕組みづくりについてのQUESTIONを持ち寄り、考え、話す会を開催しました。

「資金がなく活動を継続できない」「担い手が減り活動が停滞してきた」といったお悩みを持つ方は多いのではないのでしょうか。そんなお悩みを解決し、自分が好きなまちで楽しくまちづくりを継続するための“稼ぐ、続ける”仕組みを考える講座です。

講師には、補助金のみならず、事業収益を上げながらまちへの還元を目指す堀江浩彰さんを、ゲストには堀江さんのまちづくりの先輩・古橋敬一さんをお招きし、全3回に渡りお話しいただきました。



仕組みとして“稼ぐ”を組み込まないと
まちづくりは続かない

すぐに成果を求めるより、
弾力性を持たせて運用する方
うまくいく場合もある



SESSION 1 いい場所は好きだけど、どう続ける？を一緒に考える 2025.11.29(土)

まちづくりは“稼ぐ話”がタブーになりがちだけれど、活動を継続するには“稼ぐ”を仕組みに組み込む必要がある。この日のワークでは、稼ぐ仕組みを考える前に「そもそも自分は何を守りたいのか？それを続けるために何が必要か？」を整理しました。



「僕は、自分が好きなことなら少しくまくだ行かなくても大丈夫という自信があった。あとで“テーマが悪かった”という思考にならないようなテーマ選びも大事」と話す堀江さん。「義務感ではなく“やりたいこと”をやれているか」という、活動の本質を振り返る時間になりました。

SESSION 2 まちでの活動を長持ちさせるお金のことを一緒に考える 2025.12.6(土)

稼ぐことは、まちに投資すること。まちでの活動を続けていくためのお金の回し方を思想・実践の両面から考えました。なんと、堀江さんが自ら運営している「ホリエビル」の期ごとの売上金額を1円単位で公開！「顔（人を集める要素）」と「収益装置（お金を生む柱）」を分けて収益構造を考えるという仕組みを、堀江さん自身の経験から学びます。堀江さん「みんな、顔の話しかしない。収益の話をしてない」古橋さん「顔がうまくいったら全部うまくいくと思ってるのかも」。ドキッとさせる言葉をきっかけに、参加者からのお金のお悩みが次々に飛び出しました。



SESSION 3 続けるための仕事術と、まちへの還元を一緒に考える 2026.1.10(土)



「まちへの還元って結局なんですか？」という問いから始まったこの回。堀江さんが考える還元、それは「日常の小さな“おせっかい”の総量が増える状態」。そんなおせっかいを続けるために、疲弊しないで燃料（お金）を集め続ける具体的な設計術を学びました。役割を一人で抱えず、何を引き受け、何を手放すかを整理するワークを通じて、自分なりのまちづくりとの関わり方を見直します。終了後も講師のお二人と参加者が膝を突き合わせて語り合う時間が続く、熱のこもった回となりました。

